

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科昼間部		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義実習
科 目 名	高次脳機能障害Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時間	通年 月曜3限	教室名	4校舎301
担 当 教 員	丸山 めぐみ	実務経験と その関連資格	友愛会病院で言語聴覚士として勤務し、成人(脳疾患等)の言語聴覚療法に携わる			
《授業科目における学習内容》						
高次脳機能障害の適切な評価・診断の方法、またリハビリテーションの方法およびその特徴を学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
学期末テスト(筆記試験)において60%以上の得点をもって合格とする。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書 : ①標準言語聴覚学 高次脳機能障害学第3版(白テキスト) 参考図書: ②言語聴覚士のための臨床実習テキスト その他配布資料						
《授業外における学習方法》						
①の該当箇所を予習・復習時によく読む。②には各領域のケーススタディ(症例報告書)が記載されているので、随時自宅学習時に参照する。放課後の検査貸し出し時間を利用し、計画的に検査練習をすすめる。						
《履修に当たっての留意点》						
臨床実習を想定し、能動的に授業に参加する姿勢が求められる。検査演習も合わせて行うが、予習・復習にて技術の定着をすすめること。随時問題演習を実施する。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	記憶の基本概念と分類を理解し、用語の定義を説明できる。 記憶障害の症状を列挙することができる。	① 配布資料	①の該当箇所をよく読む。	
		各コマにおける授業予定	記憶の種類と機能/記憶障害の症状			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	健忘症候群の原因疾患を挙げ、症状を説明できる。	① 配布資料	①の該当箇所をよく読む。	
		各コマにおける授業予定	健忘症候群の症状/健忘症候群を引き起こす脳部位/原因疾患			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	記憶障害の評価の方法を列挙できる。記憶を評価する検査を実施できる。	① 配布資料	①の該当箇所を読む。 該当検査のマニュアルを読み、内容や手順を確認する。	
		各コマにおける授業予定	記憶障害の評価の流れ/S-PA、レイ複雑図形			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	記憶を評価する検査を実施できる。事例を通じて症状・全体像を述べることができる。	① 配布資料	①の該当箇所を読む。 該当検査のマニュアルを読み、内容や手順を確認する。	
		各コマにおける授業予定	リバーミード行動記憶検査/記憶障害事例検討			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	記憶障害のリハビリテーションの方法を列挙し、特徴を説明できる。	① 配布資料	①の該当箇所を読む。	
		各コマにおける授業予定	環境調整/代償手段/学習法/心理的支援			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	事例を通じて症状・全体像を述べるができる。	①② 配布資料	①の該当箇所を読む。 ②の記憶障害例を参照する。
		各コマにおける授業予定	記憶障害事例検討		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	前頭葉の構造と機能を述べるができる。前頭葉の損傷で出現する症候を列挙できる。	① 配布資料	①の該当箇所をよく読む。
		各コマにおける授業予定	前頭葉の構造・機能/前頭葉の損傷で出現する症候		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	前頭葉の損傷で出現する症候のそれぞれの特徴を説明できる。	① 配布資料	①の該当箇所をよく読む。
		各コマにおける授業予定	前頭葉の損傷で出現する症候		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	前頭葉機能障害の評価バッテリーを列挙し、その一部を実施することができる(1)。	① 配布資料	該当検査のマニュアルを読み、内容や手順を確認する。
		各コマにおける授業予定	TMT/PASAT/(SDMT)		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	前頭葉機能障害の評価バッテリーを列挙し、その一部を実施することができる(2)。	① 配布資料	該当検査のマニュアルを読み、内容や手順を確認する。
		各コマにおける授業予定	FAB/数唱		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	前頭葉機能のリハビリテーションの方法を説明できる。	① 配布資料	①の該当箇所を読む。
		各コマにおける授業予定	遂行機能障害・社会的行動障害に対するリハビリテーション		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	事例を通じて症状・全体像を述べるができる。	① 配布資料	①の該当箇所を読む。 ②の社会的行動障害・注意障害例を参照する。
		各コマにおける授業予定	社会的行動障害・注意障害 事例検討		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	事例を通じて症状・全体像を述べるができる。	① 配布資料	①の該当箇所を読む。 ②の遂行機能障害例を参照する。
		各コマにおける授業予定	遂行機能障害事例検討		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	半球離断症候群とは何かを説明できる。	① 配布資料	①の該当箇所を読む。
		各コマにおける授業予定	脳梁の構造・機能/大脳の機能の側性化		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	半球離断症候群の症状を列挙し、説明できる。	① 配布資料	検査の内容を確認する。
		各コマにおける授業予定	左半球優位症状/右半球優位症状/左右半球間連合症状/左右半球間抑制症状(意図の抗争)		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	正常な加齢と認知症の違いを述べることができる。	① 配布資料	①の該当箇所を読む。
		各コマにおける授業予定	認知症を取り巻く背景/生理的な加齢と認知症の違い/認知症とMCI		
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	認知症の定義を述べることができる。認知症に間違われやすい病態を説明できる。	① 配布資料	①の該当箇所を読む。
		各コマにおける授業予定	認知症の定義/診断手順/間違われやすい病態/中核症状		
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	認知症の原因疾患ごとの特徴を説明できる。	① 配布資料	①の該当箇所を読む。
		各コマにおける授業予定	認知症の原因疾患とその特徴(1)		
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標	認知症の原因疾患ごとの特徴を説明できる。	① 配布資料	①の該当箇所を読む。
		各コマにおける授業予定	認知症の原因疾患とその特徴(2)		
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標	認知症の評価法を列挙し、特徴を述べることができる。	① 配布資料	①の該当箇所を読む。
		各コマにおける授業予定	CDR/FAST/NPI/IADL		
第21回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	認知症のスクリーニング検査を実施できる。	① 配布資料	該当検査のマニュアルを読み、内容や手順を確認する。
		各コマにおける授業予定	MoCA-J		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	認知症の薬物療法の原則を理解できる。認知症のリハビリテーションの方法を列挙し、説明できる。	① 配布資料	①の該当箇所を読む。
		各コマにおける授業予定	認知症に対する薬物療法/認知症のリハビリテーション		
第23回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	事例を通じて症状・全体像を述べることができる。	① 配布資料	①の該当箇所を読む。
		各コマにおける授業予定	認知症事例検討		
第24回	演習形式	授業を通じての到達目標	認知症について理解した内容を、アウトプットできる。	① 配布資料	①の該当箇所を読む。
		各コマにおける授業予定	これまでの振り返り		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	外傷性脳損傷の高次脳機能障害の特徴を述べることができる。外傷性脳損傷の病態の特徴を説明できる。	① 配布資料	①の該当箇所を読む。
		各コマにおける授業予定	外傷性脳損傷とは/外傷性脳損傷の分類と病態		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	外傷性脳損傷による高次脳機能障害の症状および評価方法を説明できる。	① 配布資料	①の該当箇所を読む。
		各コマにおける授業予定	外傷性脳損傷による高次脳機能障害の症状、評価		
第27回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	事例を通じて症状・全体像を述べることができる。	① 配布資料	①の該当箇所を読む。
		各コマにおける授業予定	外傷性脳損傷による高次脳機能障害事例検討		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	認知コミュニケーション障害と失語症の違いを述べることができる。	① 配布資料	①の該当箇所を読む。
		各コマにおける授業予定	認知コミュニケーション障害とは/右半球損傷に伴う認知コミュニケーション障害		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	認知症によるコミュニケーション障害・疾患によるコミュニケーション障害の特徴を述べることができる。	① 配布資料	①の該当箇所を読む。
		各コマにおける授業予定	認知症によるコミュニケーション障害/パーキンソン病に伴う認知コミュニケーション障害		
第30回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	事例を通じて症状・全体像を述べることができる。	① 配布資料	①の該当箇所を読む。
		各コマにおける授業予定	認知症によるコミュニケーション障害事例検討		
第31回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第32回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第33回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第34回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第35回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			